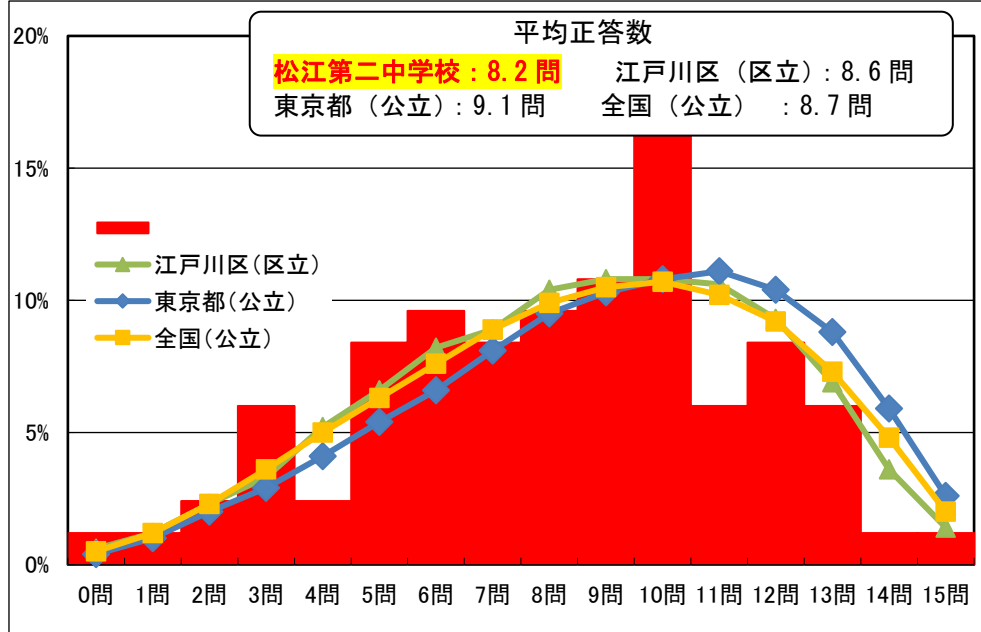
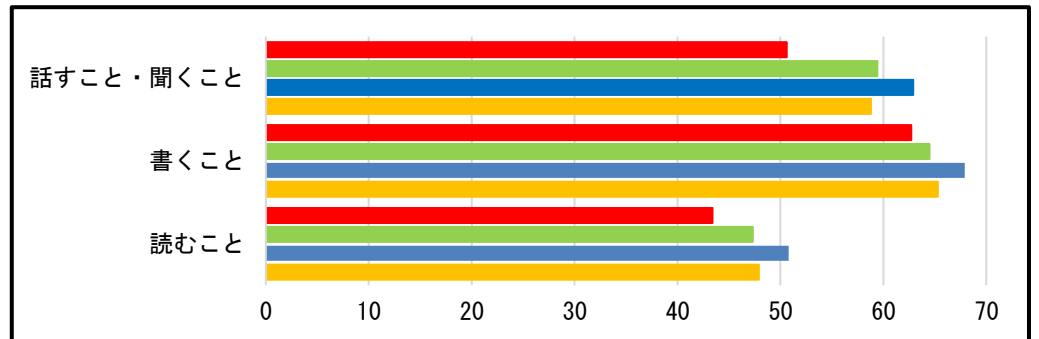
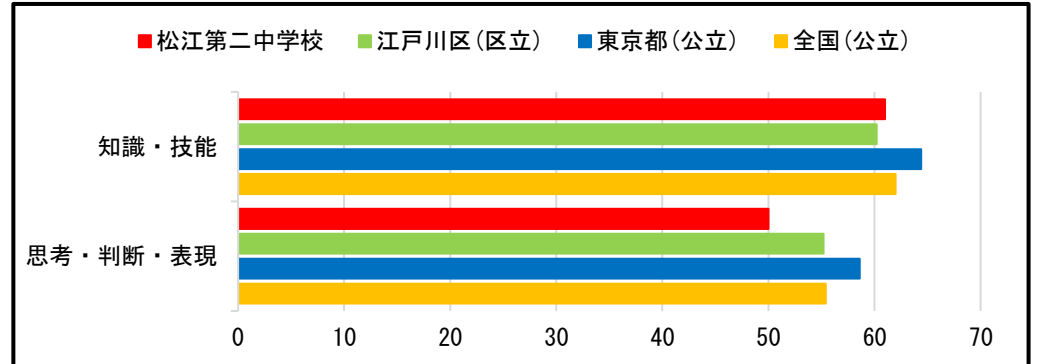


令和6年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【国語】 松江第二中学校

正答数分布



「領域別」の結果



<四分位における割合(都全体の四分位による)>

国語	上位 ← 下位			
	A層 12~15問	B層 9~11問	C層 7~8問	D層 0~6問
松江第二中学校	16.8	33.7	18.0	31.2
江戸川区(区立)	21.2	32.2	19.3	27.3
東京都(公立)	27.7	32.2	17.6	22.5
全国(公立)	23.3	31.4	18.8	26.5

【平均正答率の差】

松江第二中学校	54%
江戸川区(区立)	57%
東京都(公立)	61%
全国(公立)	58.1%
都との差	-7ポイント

%

【分析結果と授業改善に向けて】

- ・国語を理解するための知識・技能は十分に身につけているが、それを生かして考えを深め、表現する力が不足している。
- ・授業で表現する場面の割合は多いが、考えの壁にぶつくと早々にあきらめてしまい他者の意見を待っている姿がみられる。そこで、D層の生徒が取り組めるような設問とステップアップが視覚化できる教材を工夫、改善していく。

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、生徒数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合を示すものである。下の表では、四分位によって生徒をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の生徒の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。